



2024年11月期業績予想の修正並びに 2025年11月期見通しについて

2024年12月

クックビズ株式会社（東証グロース 6558）

通期業績予想の修正（連結・内訳）

- 売上高は連結子会社きゅういちが堅調に推移するもHR事業の生産性停滞。前回予想を下回る見込み。
- 営業・経常利益は戦略投資にともなう費用増の影響で下振れ見込み。
- 当期純利益は補助金収入の一方、特損計上及び繰延税金資産一部取崩しの影響で前回予想を下回る見込み。

		売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	連結	3,500	351	343	390	140.05
	-HR事業	2,400	241	—	—	—
	-事業再生・成長支援	1,100	110	—	—	—
今回修正予想 (B)	連結	3,276	91	80	3	1.27
	-HR事業	2,063	▲1	—	—	—
	-事業再生・成長支援	1,213	93	—	—	—
増減額 (B-A)	連結	▲223	▲260	▲263	▲386	—
	-HR事業	▲336	▲243	—	—	—
	-事業再生・成長支援	113	▲16	—	—	—
(参考) 前期実績 (2023年11月期)	連結	2,665	290	287	267	96.84
	-HR事業	1,907	213	—	—	—
	-事業再生・成長支援	757	76	—	—	—

通期業績予想の修正要因について

- 売上高
 - HR事業においては、外部環境としてアフターコロナの人流回復に伴う飲食店の人材需要増の特需が、当初想定よりも早期に一巡し、同事業の売上高が当初計画を下回る見込み。
 - 採用育成とリニューアル対応によって生産性が一時的に低下。一部良化しているKPIはあるもののサービス商品設計の課題も残る。
 - 子会社きゅういちほ、鮮魚の豊漁およびホタテの国内販路拡大により堅調に推移。
- 営業・経常利益
 - HR事業は、戦略投資にともなう費用増により下振れ。
 - 子会社きゅういちほ、中国禁輸前以前の両貝ホタテ在庫に対して在庫評価損を計上したことにより下振れ。
- 当期純利益
 - 特別利益：補助金収入の計上。
 - 特別損失：投資価証券評価損の計上。
 - 繰延税金資産の一部取崩しの影響により下振れ。

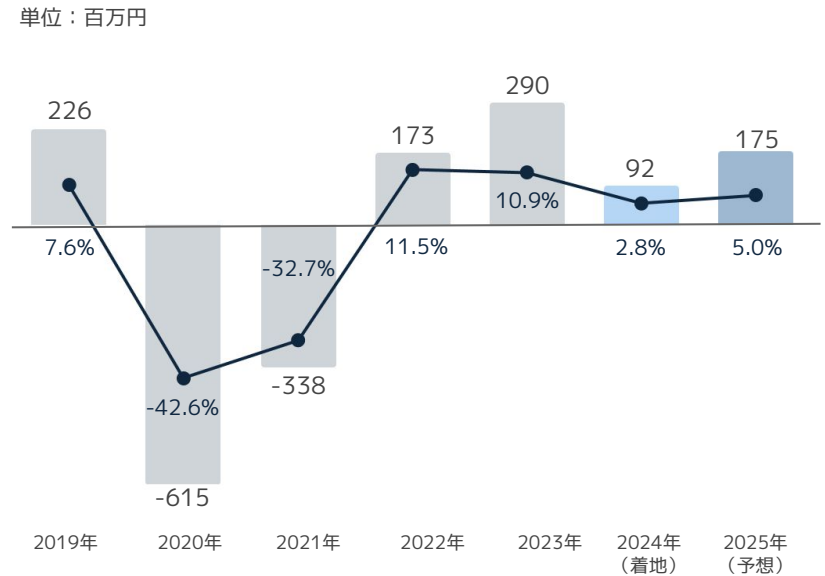
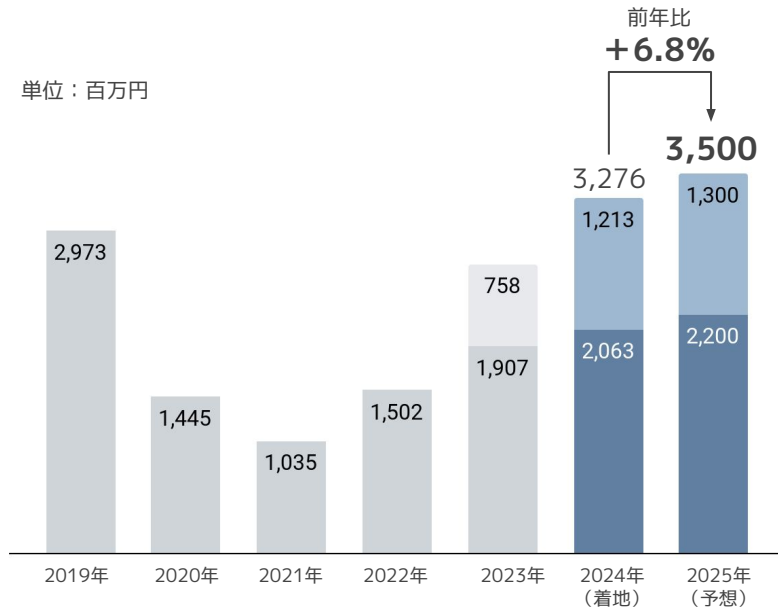
2025年11月期 業績見通し

- 売上高は、持続可能な成長を目指す。
 - HR事業は、特需一巡後の環境下での持続的成長を目指す。育成体制整備は引き続き行いつつ、外部環境の変化への対応として商品性の改定などを行い、再度二桁成長を実現できる基盤構築を図る。
 - 子会社きゅういちは、FY24の好調を鑑み着実な成長を維持の見込み。
- FY24に採用した営業人員の育成に注力するためFY25の新規採用は前年比で抑制の見込。安定的な経営基盤の構築を目指す。

単位：百万円	24年11月期実績	25年11月期見通し	増減額	YoY
売上高	3,276	3,500	224	6.8%
- HR事業	2,063	2,200	136	6.6%
-事業再生・成長支援	1,213	1,300	86	7.1%
営業利益	91	175	83	90.2%
- HR事業	▲1	100	101	-%
-事業再生・成長支援	93	75	▲18	▲19.4%

2025年11月期 業績見通し（連結）

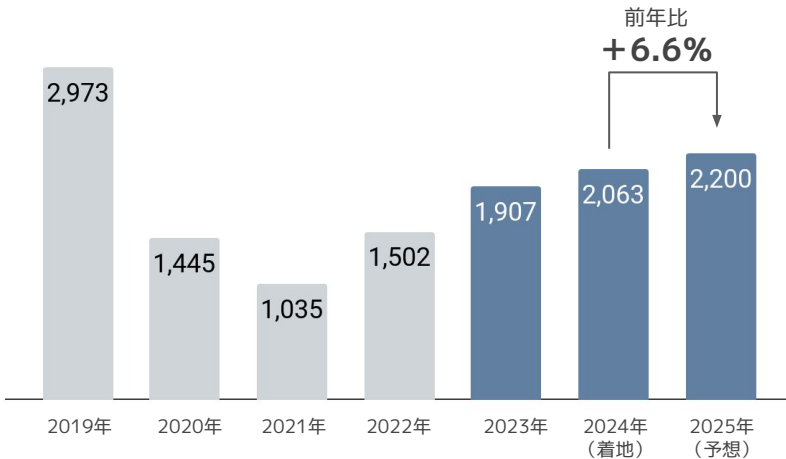
- 売上高は、両事業ともに6～7%程度の成長を見込む。
- 営業利益においては、効率的なコストコントロールに努め増益を目指す。



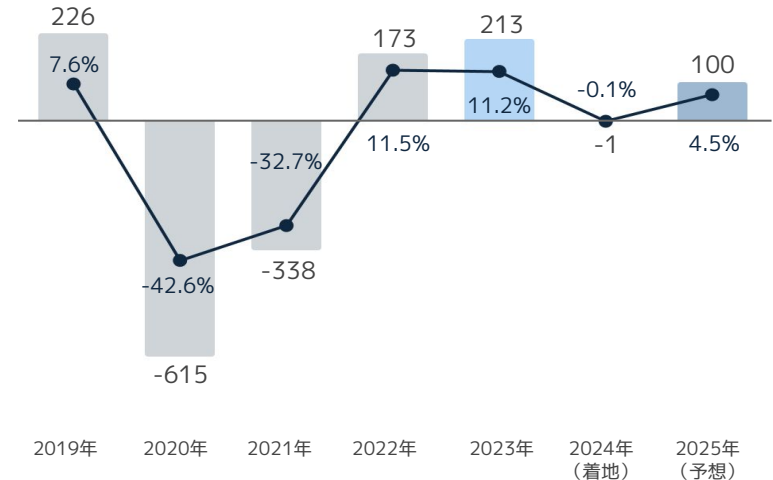
2025年11月期 業績見通し（HR事業）

- 売上高は、生産性の回復を背景に増収基調へ。
 - 育成体制整備は引き続き強化課題。
 - FY24に採用した人員の育成に注力し、FY25の採用は抑制傾向の見込み。
- 営業利益は、売上の拡大及びコストコントロールによる収益化を目指す。

単位：百万円

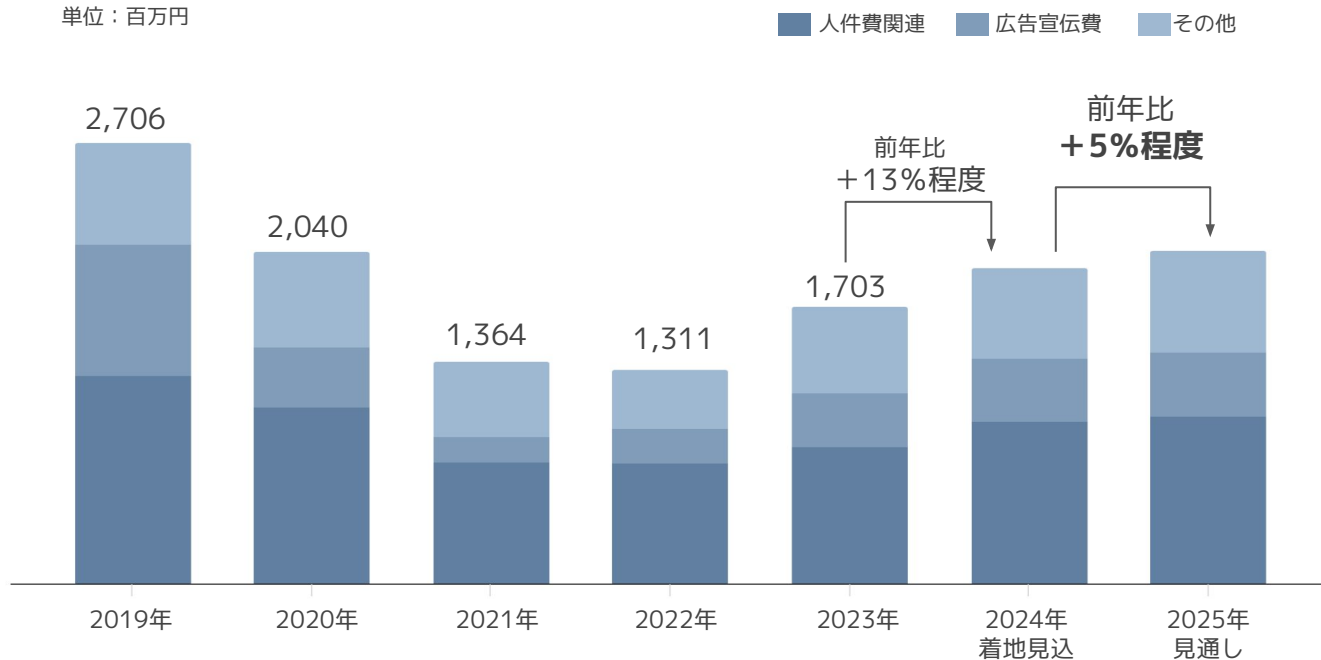


単位：百万円



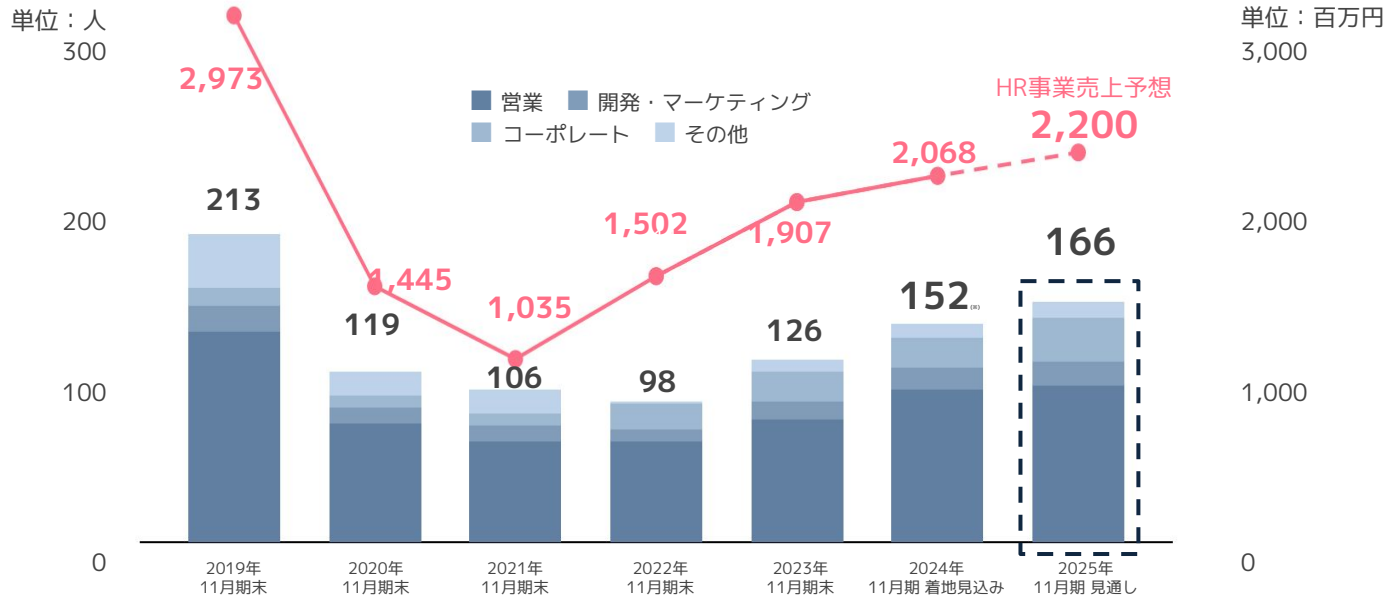
2025年11月期 販売費及び一般管理費見通し

- 採用は2024年11月期比で抑制予定とし、効率的な広告投資に努める。
- 2025年11月期の見通しは2024年11月期着地見込に対して微増の見通し。



2025年11月期 従業員推移見通し（HR事業・単体）

- 既存社員および2024年度中途入社者の生産性回復による売上拡大を目指す。
- 2024年11月期の30名超の採用に対し、2025年11月期は15名程度の採用を見込む。



※ 従業員：正社員（パート・アルバイト・嘱託社員は除く。）「その他」は、「開発・マーケティング」「コーポレート」を除くバックオフィス部門。
 ※ 連結子会社ワールドインワーカー株式会社の正社員は11名であり、上記グラフに含んでおりません。

2025年11月期 重点施策（HR事業）

- 2024年11月期の期末に向け一部KPIは良化傾向であるため、さらなる改善に努める。
- 顧客ニーズの変化に対応し、ユーザー・クライアントの利便性向上に努める。

営業力と営業生産性の向上

- 営業やコンサルタントの社内教育体制を整備
- CS、IS専門部署の設置
- パートナーシップ戦略の推進

より“使いたい”サービスの追求

cookbiz ダイレクトオファターの
サービスグロース

WEBに閉じない集客チャネル開拓

就職&転職フェア2025(仮)の
開催とコンテンツのブラッシュ
アップ

※CS：カスタマーサクセス IS：インサイドセールス

IRお問合せ窓口について

IRお問合せ

▼IRに関するお問合せ用フォームはこちら

<https://corp.cookbiz.co.jp/ir/contact/>

▼よくあるご質問はこちら

<https://corp.cookbiz.co.jp/ir/faq/>

IRニュース

▼IRニュース配信登録（URL）はこちら

<https://corp.cookbiz.co.jp/ir/mail-magazine/>

▼IR動画はこちら

<https://corp.cookbiz.co.jp/ir/movies/>

▼IRニュース配信登録（QRコード）はこちら



本資料の取扱いについて

- 本資料の作成は、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、当社の有価証券の買付または売付の申込の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等については当社は何らの検証もおこなっておらず、またこれを保証するものではありません。